

展示会出展レポート



人・文化・技術をつなぐ溶接・接合、切断の新潮流
 -Weld-Beingで環境負荷低減とDXに貢献-

2024 国際ウエルディングショー

2024国際ウエルディングショー
 2024年4月24日(水)～27日(土)

会場/インテックス大阪
 主催/一般社団法人 日本溶接協会、産報出版株式会社
 ホームページ/weldingshow.jp/2024

2024年4月24日(水)～27日(土)に、インテックス大阪で「2024国際ウエルディングショー」が開催されました。本展示会は「人・文化・技術をつなぐ溶接・接合、切断の新潮流 -Weld-Beingで環境負荷低減とDXに貢献-」をテーマにした国内最大の溶接・接合、切断技術専門展示会です。当社は「i³-Mechatronics(アイキューブ メカトロニクス)に

よるスマートなものづくりの実現 ～多様化する接合ニーズに対応するYASKAWAの接合ソリューション～」をテーマに、当社の最新接合技術を出展しました。大阪では8年ぶりの開催となる今回、ブースには約4,000名のお客さまにご来場いただきました。この場を借りて、ご来場いただいた皆さまに御礼を申し上げます。

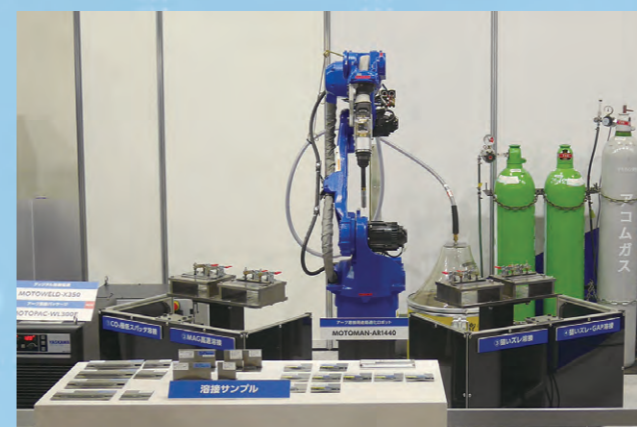
人協働アーク溶接パッケージ MOTOPAC-WHC

溶接市場の大部分を占める手溶接現場では人手不足が深刻化しています。しかし、通常の産業用ロボットでは設備のサイズやロボット操作の難解さなどの面で、手溶接現場への導入が困難でした。MOTOPAC-WHCはそうした背景から、「手溶接現場で、人に代わり高精度な溶接を行うロボット」をコンセプトに開発されました。溶接に必要なロボットと周辺機器をまとめてご提供し、すぐに高品質なロボット溶接を導入できます。また、お客さままでご使用いただいている半自動溶接機を本パッケージへ適用できますので、現行の溶接条件をそのままご使用いただけます。



カーボンニュートラルに貢献する スポット溶接ソリューション

サイクルタイム短縮動作や消費エネルギー削減動作を自動で生成する「動作自動生成機能」、更なる消費電力削減に向けた「新型電動ガン用中空モータ」と「電源回生機能」によりカーボンニュートラルに貢献します。また、YASKAWA Cockpitによるデータ収集・解析でスポット溶接工程を視える化するアドオン機能群をご紹介します。



新型EAGLによる高品質・高効率 アーク溶接ソリューション

マルチマテリアルに対応し、スパッタ低減・溶接裕度の向上を実現する新型サーボトーチで、高品質かつ高効率のアーク溶接の実演を行いました。新溶接波形制御により極低スパッタ溶接を実現したEAGL工法の適用範囲も拡大しました。



高剛性ロボットによる FSW(摩擦攪拌接合)

高剛性ロボットMOTOMAN-GG250を用いたロボットFSW(摩擦攪拌接合)をご紹介します。MOTOMAN-GG250は、FSWや機械加工などの接触作業用途に最適なロボットです。溶融温度以下の接合なのでひずみが小さく、スパッタ、ヒュームが発生しない、溶接ワイヤなどの消耗剤が不要といったメリットがあります。



20kWリングモード対応 レーザー溶接ロボット

ガルバノスキャナヘッド、ロボットに加え、制御用ケーブルや制御ソフトも含めた新型のレーザー溶接パッケージ「MOTOPAC-RL3D1200」をご紹介します。ガルバノスキャナヘッドは、業界で初となる20kWまでのリングモードレーザーに対応しています。

当社の製品・技術情報サイト(e-メカサイト)では今回展示したデモ機の動画を公開しております。是非ご覧ください。
<https://www.e-mechatronics.com/exh/archive/jws2024/>



当社企業サイトでは、展示デモの技術紹介を「テクニカルレポート」として公開しています。是非ご覧ください。
<https://www.yaskawa.co.jp/technology/technical-report/detail240508>



● お問い合わせ先：ロボット事業部 事業企画課 事業企画課 TEL: 093-645-7759

展示会出展レポート

FOOMA JAPAN 2024

FOOMA JAPAN 2024
2024年6月4日(火)~7日(金)

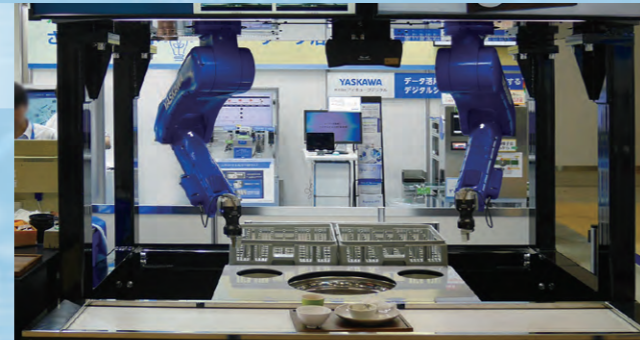
会場/東京ビッグサイト
主催/一般社団法人 日本食品機械工業会
ホームページ/<https://www.foomajapan.jp>

6月4日(火)~7日(金)の4日間、東京ビッグサイトで開催された「FOOMA JAPAN 2024」に出展し、多くのお客さまにご来場いただきました。当社ブースでは、ソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」のもと、変種変量生産が欠かせない食品製造現場の自動化をご提案するとともに、データを活用したフードロス削減でサステナブルな社会の

実現に貢献する製品・ソリューションをご提供いただきました。自律性を備えたロボット「MOTOMAN NEXT」やサニタリー性を確保したトッピング自動化セルを始めとし、各種メカトロニクス製品にも高い関心が寄せられ、安川グループの目指す姿をご提供いただきました。今後も、食品製造現場の自動化支援にとどまらず、お客さまが抱える課題解決の一助となるソリューションをご提供してまいります。

自律性を備えたロボット MOTOMAN NEXT

食器の下膳をアプリケーション例として、周辺の状況に合わせて自らの判断で計画を実行しながら指示された作業を完了させる“自律性”を有したロボットのMOTOMAN NEXTをご紹介します。産業用ロボットは進化を続け、その活用領域は拡大してきましたが、教えた動作を繰り返す「ティーチングプレイバック方式」だけでは自動化できない作業領域はまだ多く残っています。MOTOMAN NEXTの活用で、特に変化や不確定要素が多い食品製造の更なる自動化とともに、データを活用したフードロス削減など、より幅広いソリューションをお届けできます。

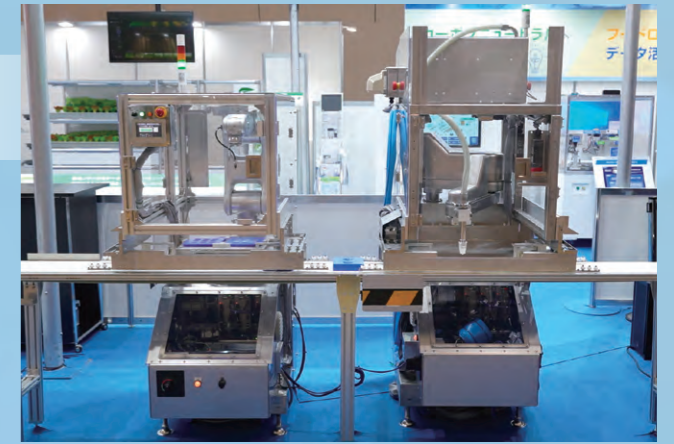


当社企業サイトでは、展示デモの技術紹介を「テクニカルレポート」として公開しています。是非ご覧ください。
<https://www.yaskawa.co.jp/technology/technical-report/detail240806>



サニタリー性を確保した トッピング自動化セル

トッピング工程の自動化を進めることで、異物混入や雑菌の繁殖を防ぐサニタリーへの対応に多くの時間を要したり、安全面の確保で周辺のスペースが狭くなったりするなど課題があります。それらの課題へのソリューションとして耐洗浄性を向上させ、人と同等サイズで移設可能なトッピング自動化セルをご提案しました。今後も変種変量生産の現場での自動化に貢献するよう取組みを加速します。



進化した人協働パレタイザ CoboPal-DX

CoboPal(コボパル)はロボットになじみのない工場でも安心して導入できる人協働パレタイザのパッケージ製品としておかげさまで好評いただいております。今回はデジタル化、スマート工場への第一歩としても活用できる機能を付加したCoboPal-DXを紹介しました。パレタイズのみならず、生産状況のリアルタイム監視も可能です。



表裏二面検査ユニット搭載 Y's-EyeコンパクトW

検査工程は作業者の熟練度によって精度がばらつく課題があります。AI画像判定で検知精度を安定させ、さらに不良品を取り除く機構をパッケージすることで、一連の工程の自動化をするY's-EyeコンパクトWをご紹介します。省スペースで表裏二面の検査が可能、さらに検査結果を分析するためのツール「Y's-EyeDataview」を組み合わせることで、トレーサビリティの確保から、その先の工程改善、フードロス削減にも貢献できます。熟練者不足やノウハウの継承といった課題への解決にも寄与します。



高付加価値野菜の安定供給 植物工場システム アグリネ

植物工場は拡大傾向ではあるものの、ランニングコストの負担など課題があります。そのソリューションとして安川電機の技術を結集した植物工場システム「アグリネ」をご紹介します。今回は、自動化だけでなく、野菜の生育状況のデータを収集・解析から栽培環境を最適に保つことで、野菜を高品質化し、さらに必要十分なエネルギー供給でランニングコストの負担軽減につながることを訴求しました。また、小規模、研究用としても導入できる小型のアグリネminiや、アグリネ検証機1台で生育条件が異なる複数の野菜を同時栽培し、それらの野菜を詰め合わせたアソート商品を紹介することで、植物工場の付加価値向上、今後の発展に多くの期待が寄せられました。



● お問い合わせ先: 営業本部 食品営業部 営業課 TEL: 03-5402-4579

展示会出展レポート

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024

2024年7月4日(木)～6日(土)

会場 / Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)

主催 / 株式会社 ニュースダイジェスト社

ホームページ / <https://robot-technology.jp>

2024年7月4日(木)～6日(土)の3日間、中部国際空港に直結したAichi Sky Expoにて「ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024」が開催されました。本展示会は産業用ロボットと自動化システムの専門展で、製造業など産業集積地である中部地区で開催される国内最大級のBtoB展示会です。

2回目の開催となる今回、当社は「i³-Mechatronicsによるスマートなものづくりの実現」をテーマに、i³-Mechatronicsに基づいた新たな自動化ソリューションをご紹介しました。

今後も中部地区を中心としたお客さまの“コト”を解決する自動化ソリューションをご提案してまいります。

メイン展示 i³-Mechatronicsを具現化した生産セル



EVバッテリーの生産ラインを模したデモにより、3つのキーテクノロジー「自律分散制御」「データ活用」「デジタルツイン」をご紹介しました。i³-Mechatronicsコンセプトに基づく内容で、生産ライン全体だけではなく、一つの工程からでも適用できることを紹介しました。組立工程では人協働ロボットが作業に応じて台数編成やツールを変えながら3種類の製品を組み立て、搬送工程では1トン可搬のスカラロボットがAMRと棚の間でワークのハンドリングを行いました。

● お問い合わせ先：ロボット事業部 事業企画部 事業企画課 TEL: 093-645-7759

アプリケーションゾーン

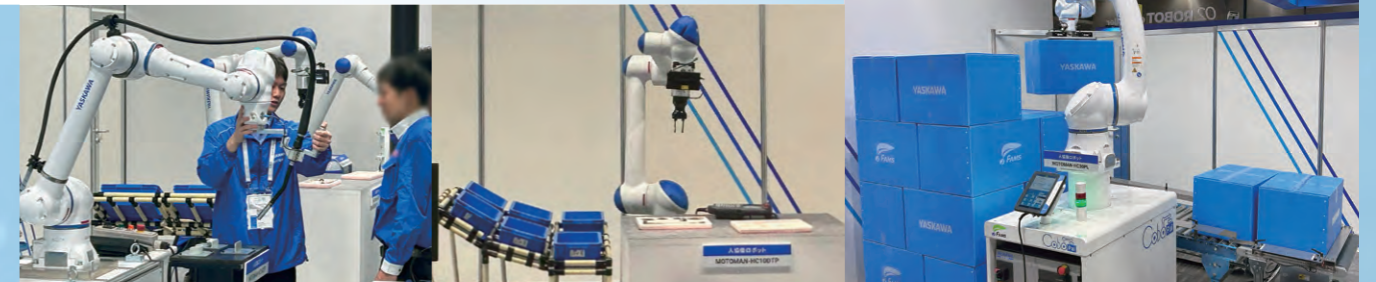


傾動軸付きワーク供給システムを使用した塗装ソリューション

新型EAGLによるアーク溶接ソリューション

スポット溶接ソリューション

人協働ロボットゾーン



人協働アーク溶接パッケージ

ばら積みピッキング&整理キット配膳

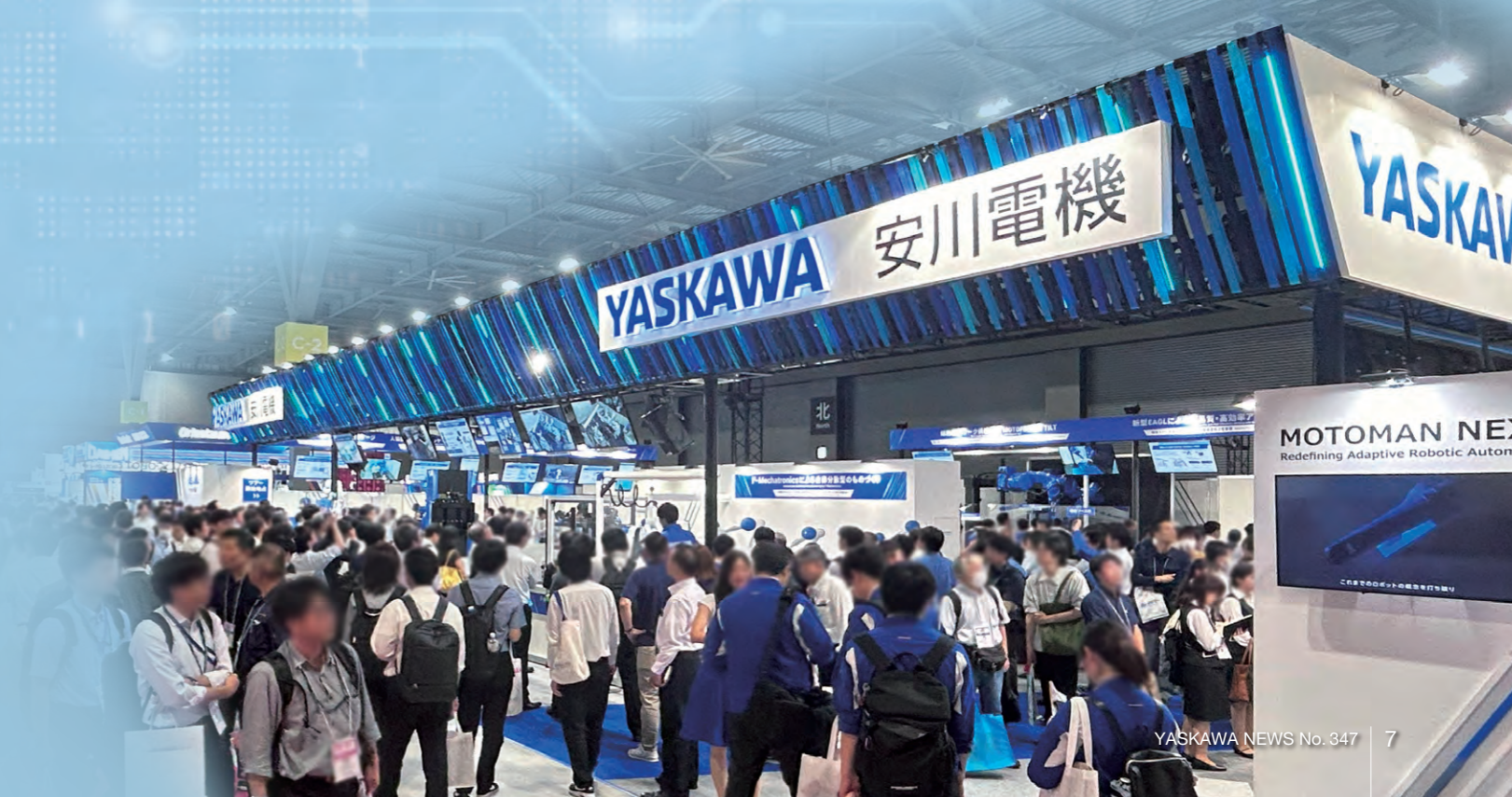
人協働パレタイズパッケージ

MOTOMAN NEXT / AIゾーン



食器下膳作業の自動化

ふぞろい野菜箱詰め作業の自動化



展示会出展レポート

エコテクノ2024

—地球環境ソリューション展/エネルギー先端技術展—

エコテクノ2024 / ロボット産業マッチングフェア北九州2024

2024年7月3日(水)～5日(金)

会場/西日本総合展示場

主催/福岡県、北九州市、公益財団法人北九州観光コンベンション協会

ホームページ/ <https://eco-t.solution-expo.jp/>

7月3日(水)～5日(金)の3日間、西日本総合展示場(福岡県北九州市)で「課題解決EXPO2024」が開催されました。本展示会では8つの展示会・商談会が同時開催され、当社は環境ビジネス振興を目的とした「エコテクノ2024」と、中小企業向けにロボット導入を提案する「ロボット産業マッチングフェア北九州2024」に出展しました。

農業分野の自動化促進の実例として「いちご選果ロボット」のデモ展示や、自律性を備えたロボット「MOTOMAN NEXT」

の静態展示を実施し、ご来場の皆さまの関心を集めました。また、「MOTOMAN-HC10DTP」ハンドキャリアタイプ、太陽光発電用パワーコンディショナ「Enewell-SOL P3A」、 「YRM1010」、「Σ-X」、YASKAWA Cockpitを活用したデータ活用技術、当社のインバータによる省エネ技術などをご紹介しました。会期中には大変多くのお客さまに当社ブースへお越しいただきました。



いちご選果・パック詰めをロボットで実現



省エネ大賞を受賞したEnewell-SOL P3A



データの有効活用で素早くトラブルシューティング

● お問い合わせ先：コーポレートブランディング本部 広報・IR部 TEL: 093-588-3076